

排水、廃棄物を採取

有機水銀
調査団

チツソ工場中心に

四日水俣を訪れた経済企画庁をはじめ、厚生省、通産省、水産庁など各省庁の担当官ら九人による有機水銀中毒問題調査団の一一行は、五、六の両日にわたり、チツソ水俣工場を中心周辺水域などの調査を行なつた。

同工場では調査団に水俣保健所、市衛生課からも参加、工場関係者から説明を聞き、工場内の調

査地点を選定した。このあと同工場の柏野次長、深水安全衛生部長、夏目公害課長らの立ち会いで、排水浄化施設に流れ込む廢液、浄化を終わった放流水などを中心に、十五カ所で排水、廃棄物の採取を行なつた。

六日は水俣湾、笠置湾、水俣川河口などで、海水、川水、汚泥土などを採取し、金水銀量、有機水銀量などの調査を行なつた。

この調査はアセトアルデヒドを原料として、アセトアルデヒドを製造している工場および関係水域について、公共用水域の水質検査、保健衛生の立ち場から水銀についての実態調査を行なうもので、水俣病の原因究明とは関係ない。第二陣は来月来水する。